

少子高齢化

名前 _____

_____ 月 _____ 日

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

少子高齢化が進む中、将来の世代のために私たちは何を考えるべきだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 少子高齢化

出生率と人口

- 1 生まれる子どもの数が減ること。
- 2 65歳以上の人の割合が高まること。
- 3 一人の女性が一生に産む子どもの数の平均。

日本では、生まれる子どもの数が減る ¹ **少子化** と、65歳以上の人の割合が高まる ² **高齢化** が同時に進んでいる。一人の女性が一生のうちに産む子どもの数の平均を ³ **合計特殊出生率** といい、日本では近年1.2を下回り、人口を保つのに必要とされる約2.1を大きく下回っている。結婚や出産の年齢が上がったことなどが背景にある。

人口の構成は、年齢別・男女別に積み上げた ⁴ **人口ピラミッド** でわかる。かつての日本は子どもが多い ⁵ **富士山型** だったが、いまは若い層が細く高齢層が厚い ⁶ **つぼ型** に近づいている。総人口は2010年前後から減り続けている。15～64歳の ⁷ **生産年齢人口** が減ると、税や社会保険料を負担する人が少なくなる一方、年金や医療・介護を必要とする人は増えていく。

型	年齢の構成
⁵ 富士山型	子どもが多く高齢者が少ない
つりがね型	子どもと高齢者が少なく中間が厚い
⁶ つぼ型	子どもが少なく高齢者が多い

2 持続可能な社会

世代間の公正

- 11 将来の世代の必要をそこなわない社会。
- 12 世代がちがっても負担と利益を公平にする考え。
- 10 子どもを育てるために仕事を休める制度。

少子高齢化で働く世代の負担が重くなると、子育て支援と社会保障の両方が課題になる。政府は2023年に ⁸ **こども家庭庁** を発足させ、 ⁹ **保育所** の整備や ¹⁰ **育児休業** の取得促進などで、子育てしやすい環境づくりを進めている。高齢者が働き続けられる仕組みや、地域で支え合う取り組みも広がっている。

現在の世代の暮らしだけを優先し、借金や環境への負担を将来の世代に残すのは公正とはいえない。将来の世代の必要をそこなわずに、現在の世代の必要を満たす社会を

¹¹ **持続可能な社会** いう。世代がちがっても負担と利益が公平になるようにする考え方を ¹² **世代間の公正** といい、社会保障や財政、環境など多くの問題を考える手がかりになる。

できた / 12